

# かけはし



今号の「倫理の達人」

花夢衣(カムイ) (写真①②)  
サン・ミルク株式会社 (写真③④)

岩手県倫理  
法人会 HP



岩手県倫理法人会令和4年度目標決誓大会……2  
 おらほの単会自慢……3  
 倫理の達人……4  
 スポットライト……5  
 富士高原研修所セミナー報告……6  
 女性委員会 ランチセミナー報告……7  
 ぶらり寄りみち散歩道……7  
 万人幸福の菜／倫理との出会いと今……8



# 岩手県倫理法人会 令和4年度目標決誓大会

しきなみ短歌会

今回の短歌

愛娘

食器扉のストレスに

頭ぶつけて成長を知る

(佐藤誠さん)



6月10日（金）、岩手県倫理法人会「令和4年度目標決誓大会」が花巻市の渡り温泉で開催されました。

及川元一会長より、今年度の13単会の普及活動状況について詳しい講評があり、会長挨拶の中で次のように述べられました。「1420社という目標を掲げてスタートしましたが、なかなか届かない、なかなか難しいものです。でも、今回の頑張り、踏ん張りが来年度に繋がって行くんだと思います。私の妻から、こう言われました。『この前小学校の運動会があったでしょう。小学校の子ども達は、何を考えて運動会に参加しているんだべ。自分の組が勝ちたいと思って準備をしてきている。唯々、がむしゃらに無邪気に運動会の成功を夢見て一生懸命やる。それが成功に繋がってるんじゃないか。倫理法人会も無邪気に喜んで楽しんで一生懸命やる普及活動を、お父さんやりなさいよ』。その通りだなと思いました。今年度の頑張りや是非来年度に引き継いでいきたいと思っています。皆様の令和4年度の普及活動に感謝申し上げます。もちろん、年度末まであと2か月あります。頑張りましょう」。

続いて、佐藤功副会長が、小川廣文幹事長の経過報告を代読いたしました。引き続き、目標達成単会表彰が行われ、けせん倫理法人会、紫波・矢巾準倫理法人会に及川会長より表彰状が贈られました。2単会の米谷会長、白澤会長より経過報告が行われました。誠にありがとうございます。

最後に、一般社団法人倫理研究所・和田毅法人局局长より総評を頂戴いたしました。「本日の大会名の『決誓』は造語です。現時点、目標未達の単会は『8月末までの新たな決意をしましょう。誓いを立てる日』。達成単会は、『8月末まで気を引き締めていく日。さらなる躍進を誓う日』。ぶれることなく、着実に共に乗り切って参りましょう」。

年度末の8月末まで、頑張ってください！（文責・岩手県倫理法人会 広報委員長 菊池忠彦）



及川元一会長 挨拶



佐藤功副会長 経過報告



和田毅法人局局长 総評



白澤 勉 会長 及川 元一 会長 米谷 直 会長



会場風景



# おらほの 単会 自慢

けせん倫理法人会

## 女性が輝く、 けせん倫理法人会

けせん倫理法人会は、志田美智子専任幹事、小松英子副事務長をはじめ、女性の皆さんが明るく元気に輝いている単会です。

女性委員会（米沢敬子委員長、照井千賀子副委員長）においては、令和4年度「陶芸体験」、「ランチセミナー」、「福祉施設へのタオル寄贈」等の活動を計画し行っております。

輝く女性の皆さんを写真にてご紹介します。

5月29日(日)に「ランチセミナー」を開催しました。セミナーの内容は、「もしもの時の備え～お葬儀遍～」と題して、米沢敬子女性委員長のご長男、米沢優希氏（一般葬祭ディレクター）を講師にマナー講座を開催しました。



モーニングセミナーの風景。毎週25～30名の皆さんが集まり、倫理の原理原則と体験を学んでいます。



(左から)照井千賀子女性副委員長、志田美智子専任幹事、高木久子研修委員長、小松英子副事務長、熊谷ゆかり広報副委員長、菅原香広報委員会サポート、田中タカ子モーニングセミナー副委員長



(左から)照井千賀子女性副委員長、田中タカ子モーニングセミナー副委員長、志田美智子専任幹事、上野純子事務局長、米沢敬子女性委員長

上記のように、女性の皆さんが輝く、けせん倫理法人会は、「ともに成長、ともに前へ」のスローガンのもと、明るく・楽しく・元気良く、皆さんが家庭や職場に活力を持ち帰れる会を目指し、今日も邁進しています。皆さんも是非とも一度、けせん倫理法人会に足をお運びください。(けせん倫理法人会広報委員長 伊藤勝美)

しきなみ短歌会

今回の短歌

傘を打つ

雨音か細くなりにつけり

遅い夕陽が鬼百合照らす

(堀内健一さん)



## 久慈市準倫理法人会

## 花夢衣 (カムイ)

住所：岩手県久慈市川貴 7-28-25  
TEL：0194-59-3773  
<http://k-kamui.net/>



代表  
川 向 辰 己

倫理法人会には平成 8 年 9 月に入会しました。

講話者のお話は仕事、家庭、子育て等の学校では教えてくれない人生の大事なことを聞くことが出来るので毎週期待を持って出席しました。当時の又川県会長のお話は何度聞いても感動的で倫理の魅力が満載でした。ある時は「早朝、早起きして倫理の勉強をやり続けていれば、今眠っている同業他社に追いつき追い越せる。他社に気づかれていない今がチャンス！」と言われた時は、「自分もまだ間に合う、勉強をしよう、倫理を 10 年は続けよう」と思いました。



しばらく経って、当時の中野克己専任幹事からアドバイスが有り、自分の店の特徴を出すために

オリジナル商品を作ることを勧められました。素材について色々と考えていると自分の夢も膨らみ、久慈の特産品「琥珀」を使った染物に挑戦することになりました。(株)久慈琥珀さんに協力をお願いして材料となる「久慈琥珀」を提供してもらい、みんなの前で琥珀染を作ることを宣言してから開発に着手しました。琥珀からの色の抽出がどうしても出来ず何度も失敗を重ねましたが、倫友の応援や京都の伝統工芸士・椎名淳夫先生との出会いが有って、ついに琥珀染を完成できました。NHK-TV や岩手日報等の新聞記事にもなり、平成 11 年 10 月には久慈市アンバーホールで「久慈の琥珀染」発表会を開催しました。

以来、着物・帯だけでなく久慈市の贈答品用にとショール・ネクタイも商品化し、地元をはじめ各地の倫友にもご愛用頂いています。ご縁が有り、倫理研究所でも長い間記念品としてご利用頂いています。倫理で学んだ創業の3意「熱意、誠意、創意」をモットーとし、「久慈の琥珀染」が久慈市の名産品となるようにオリジナル手描きの魅力を伝えて参ります。



# 倫理の達人

「倫理の達人」コーナーでは毎号、各単会で活躍する事業所や人物を紹介します。どのように「倫理」と向き合って、日々の仕事の中でどう実践しているかを紹介いたします。

## 北上市倫理法人会

## 総合配達業 サン・ミルク株式会社

住所：岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原森合 7-23  
TEL：0197-41-9321  
<https://www.sun-milk.com>



代表取締役  
千 田 幸 夫

サン・ミルク株式会社は、昭和 49 年に創業して、昭和 56 年に株式会社で法人化。今年で創業 48 年になります。倫理法人会入会のきっかけは、当時の岩手県倫理法人会の又川俊三会長と高山俊之幹事長のお二人が訪ねてきたことです。とても気さくで印象良く話しやすかったそうです。北上市倫理法人会がまだ出来る前だったので、志戸平温泉や盛岡まで妻のさい子さんとよく通ったとのこと。

23～24歳の頃に本が好きで、挨拶や返事が大切と学んでおり、27歳の時には営業の道に進み、倫理法人会の教えに多くの共通点があり、すんなりと受け入れることが出来ました。

その後、あるご縁がきっかけで福祉事業に取り組むこととなります。それは埼玉の友人がきっかけで、税理士

主催による事業説明会に参加したところ、介護事業が規制緩和になり民間事業者でも出来る事を知りました。そして 2011 年和賀町で横川目デイサービス長寿園をスタート。今では、あいさりグループホーム長寿園、横川目グループホーム、はとおかざきグループホーム長寿園、横川目グループホーム長寿園があります。

デイサービスでは市内の瀬美温泉から運んだお湯のお風呂に入る事が出来て喜んでいただいているとのこと。

社長と娘さんが福祉事業部、息子さんが牛乳配達部門、奥様は牛乳配達部門と全体の経理を担当しています。今は人手不足で大変と話していましたが、いつも明るく元気な千田社長でした。(岩手県倫理法人会広報副委員長 遠藤哲也 <北上市倫理法人会所属>)



# スポットライト

各単会の女性経営者の方にスポットを当て、経営と倫理に対する思い、そしてプライベートな関心事まで語ってもらいました。

しきなみ短歌会

今回の短歌

「生きることに

意味などない」

と大愚和尚

ああそうなのかと大根を切る

(鈴木君江さん)

## 遠野市倫理法人会

会員

永田 日刀美

アトリエ遊  
代表



### ○どんなお仕事をしていますか？

美容室（アトリエ遊）のほか、令和元年美容室の隣に民泊（ゲストハウス遠野for遊）を開業し、宿泊客へのリラクゼーションメニューの提供と、昨年7月に和風にリフォームした店内で、着物の着付けと撮影をして、画像をお客様にお渡しし喜ばれています。定休日や閉店後にはレンタルルームとしてお客様にご利用いただいています。



### ○倫理法人会に入ったきっかけは？

受講していた花巻信用金庫の企業家塾に倫理会員の方が多く、モーニングセミナーや講演会に誘われ、周知のお手伝いや遠野市倫理法人会の方と交流し、女性会員の方と親しくなり雰囲気良かったので入会しました。

### ○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

私は個人事業主で家と仕事場が同じ場所で、切替えをするために「職場の倫理」を読んで一人朝礼をしたり、会員の皆さんのお話を聞き、アドバイスや応援を頂いたことから、気づきや学びを自分の事業に活かし、地域貢献や若者支援につながる発信を心がけています。



### ○趣味や熱中していることは？

観劇やコンサート、社寺仏閣巡り、久しぶりに実現できました。最近、学生時代に読んでいた歴史漫画を愛蔵版で購入し読んでいます。遠野市の地域活性化事業のメンバーと月1回懇親会を開催し、遠野の未来について夢を語る事も楽しみのひとつです。



## 紫波・矢巾準倫理法人会

女性委員長

佐藤 美代子

第一生命株式会社  
保険営業



### ○どんなお仕事をしていますか？

第一生命株式会社盛岡支社都南営業オフィスで保険の営業をしています。女性だけ20人以上の事務所ですが、とても働きやすく、福利厚生も充実していて、移動などの多い業種ですが、ここ数年辞める方が1人もなく職場環境も整っています。



### ○倫理法人会に入ったきっかけは？

きっかけは、3年前、上司の八重樫登喜子さんが遠野から転勤してまいりました。当時宮澤会長と及川会長のお二人が、その八重樫さんのところへ何回かいらしてまして、その席へ呼ばれてお会いしたのが倫理法人会を知ったきっかけだと思います。何回か通っておりましたが、皆さんの人柄に触れているうちに私も仲間になりたいと思うようになり、会員にいただき、今ではモーニングセミナーの司会をするようになりました。いつも挨拶は明るくて良いなと感じていて、「会社で仕事の時も明るく」を心掛けています。

### ○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

朝礼は行っていますが、職場の教養などは使っていません。ただ、私の机のすぐ後ろに職場の教養を3か月分、八重樫さんと私の二人分で60冊おいてあるのですが、ほとんどなくなるので、事務所で働く営業の皆さんがそれぞれ持ち帰り、仕事などに活かしたりしていると思います。



### ○趣味や熱中していることは？

骨折で休んだことからまだ復帰できていませんが踊りを続けています。あと老後の生活についてお会いする人、特に若い人たちに早いうちからの準備が必要なおことに気付いてほしいと願い熱心に伝えています。

（文責 / 紫波・矢巾準倫理法人会  
広報委員長 昆 浩司）





# 富士高原研修所 セミナー報告

しきなみ短歌会

今回の短歌

息を呑む

澄んだ空気と無音の雪

時計回りの冬ようやく来た

(佐藤誠さん)

4月22日(金)～24日(日)、岩手県倫理法人会は、富士高原研修所にてセミナーを実施いたしました(4月22日は移動日)。及川元一会長をはじめ、会員23名が参加。岩手倫理経営塾の第3講としても開催され、経営塾関係者は第4期塾生7名を含む16名が参加しました。参加された方々は、皆さん大きな学びを得て来られたようです。その中から4名の塾生の感想をご紹介します。



## 久慈市準倫理法人会 高柳 純子

今回の経験はとても思い出深いものになりました。研修前は楽しみというよりは少し鬱々とした気持ちでバスに乗り込みました。

研修では、恩の遡源、自照清坐などが印象に残っています。両親に想いを馳せ(研修後すぐに会いに行きました)、夫との関係には新たな気づきをいただきました。研修後は鬱々とした気持ちは何処へやら、晴れやかな気持ちで帰路につきました。塾の講師の方々や第4期塾生の仲間たちのご縁に心から感謝しています。

## 花巻市倫理法人会 佐々木真人

この富士研で私は、本当の意味で純情(すなお)になれたと思っています。自分の心に付いていた物が涙と共に流れていくような感覚でした。また、講師の方々も本当に私たちと同じ目線で接してくれているのを感じました。最終日の挨拶テストでは班のメンバーは、私が最年少なのにも関わらず、部屋長に選んでくれて、私の掛け声で挨拶を揃えてもらいました。結果は、全13班の中で1番に合格を頂くことができ、その時の喜び方は本当に全員が子供のような笑顔でハイタッチ。こんな経験は滅多にできないです。心の底から嬉しかったし、父と喜び合うってこんな感じなのかな、と思える貴重な体験でした。

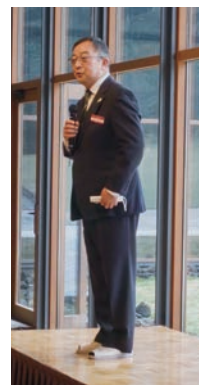
## 盛岡市倫理法人会 佐々木幸人

初めての富士高原研修で、行く前から熱(知恵)を出すくらいワクワクとドキドキの3日間でした。初めの朝に、凜とした空気の下で拝見した創始者の銅像の目はとても優しく、温かく感じて自然と純情な心になり、研修を始められました。後始末や食事の心構えなどを実践すると、自分は今まで“やっているつもり”だった事を学び、これからも純情に実践をし続ける決意をしました。

そして、帰宅後体重計に乗って、身も心も「脱皮」したことを実感しました。

## 北上市倫理法人会 伊藤 正治

入会14年目で初めて富士研に参加しました。富士山の麓での研修では両親や家族への忘れていたお詫びや、普通と思っていた感謝を沢山思い出し、涙を流しながら話すことで心が楽になり清々しい気持ちになったように感じます。富士研での研修の魅力は、参加した方の話を聞くだけでなく、自分で参加し体験することで見つけることができるものだと思えました。また、参加したいと思います。





## 女性委員会

# ランチセミナー報告

6月24日金曜日、矢巾町の“やはばーく”に於いて、令和4年度岩手県倫理法人会女性委員会の「ランチセミナー」を開催いたしました。当日は雨の中、県内各地から48名のご参加をいただき、講師にカズミスタジオ代表の佐藤和美さん（宮古市）をお迎えして『岩手県から世界への挑戦』をテーマにご講話いただきました。ミセスオブザイヤー2021の日本大会でベストスピーチ賞を受賞された和美さんのお話は、とてもパワフル。会場の皆さんも熱心に聞いていらっしゃいました。特に、『コンプレックスを武器に変えブランディングしていく』『弱みを輝きに変えていく』というワードは日常生活や経営の上での大きなヒントとなり、その発想の転換力には感嘆しました。

ご主人の協力のもと目標を明確に定め、チャンスの前髪をグッと掴んでやってやってやり抜いた結果が、世界大会での大活躍を引き寄せたというストーリーにも感動しました。

セミナー終了後の感想シェア会では、冒頭、宮古市の浄土ヶ浜の外海をイメージしてデザインされた素敵なブルーのドレス姿もご披露いただき磨き上げられたウォーキングには大歓声があがりました。

「自分の為だけでなく、地域の為に、誰かの為に。だからこそ頑張れた！」。和美さんもそうおっしゃっていましたが、このセミナーを開催するにあたり、県内13単会の女性委員さんたちも、事前準備も、当日の役割を通して会場に来て下さる大切な方々の為にそれぞれに『おもてなしの実践』をして下さいました。



さらに、令和4年度女性委員会のテーマ『やわらかにつながる やわらかくつなげる』を実践した結果、このセミナーを通して新しいお仲間がたくさん増えたことも嬉しい出来事です。女性委員の皆さんの当日のご活躍はもちろんのこと、日頃の活動の素晴らしさを実感し感動しました。

倫理法人会への感謝の気持ちを胸いっぱい、ゴムまりのようにはずみながら、女性ならではの視点を活かして、これからも活動してまいります。

（岩手県倫理法人会女性委員長 佐々木富士子）

## ぶらり 寄りみち 散歩道

銘菓処高千代

（奥州市水沢区吉小路18）

異業種コラボ商品「ガーデンハックルベリーどらやき」。一度ご賞味あれ。

奥州市には沢山自慢したいスイーツがあるが、今回のご紹介は、銘菓処高千代さんの「ガーデンハックルベリーどらやき」である。この商品は、とてもおもしろい企業コラボから誕生している。原

材料であるガーデンハックルベリーは、江刺自動車学校で生産されている。なぜ自動車学校でと思われると思うが、高齢者講習で目の不調を訴えるお年寄りの声を聞き、そんな不安解消の一助になればと栽培し、ジャムや飲む酢を商品化したのである。ガーデンハックルベリーは、目に良いと言われるブルーベリー

よりもアントシアニンが約7倍あり、高齢者などにも評判が良かった。そして商工会議所の声かけで江刺自動車学校と銘菓処高千代がコラボで商品開発に取り組み、2018年に誕生したのが「ガーデンハックルベリーどらやき」なのです。ガーデンハックルベリージャムと発酵バターをブレンドし、どらやき生地には醤油麹などがブレンドされ、とても味わい深い美味しいどらやきとなっています。また、片手でも食べられる形状にしたことで、着色料を使っていない本来のガーデンハックルベリーの色鮮やかさを楽しめるのも特徴。現在、奥州市のふるさと納税返礼品にも採用され、今や奥州市のお土産菓子としても認知されてきている。現在は高速道下り・前沢サービス

エリアでの販売や、岩手県産や県外COOPの共同購入での販売などもされています。また、ガーデンハックルベリーどらやき以外にも、洋菓子タイプのガーデンサンドやガーデンハックルベリーゼリー等も販売していますので、是非奥州市にお越しの際は、召し上がって頂きたいお菓子です。

（奥州市倫理法人会広報委員長 菊池達哉）



銘菓処高千代



高橋一隆社長



## 『万人幸福の葉』

### 苦難は幸福の門（苦難福門）



人が恐れきらっているのは苦難である。中でも病気、災難、貧苦……世に少しの苦しみもないという家はまことに少い。必ず何か一つ、「これだけが片づいたら」と念じている「困ったこと」がある。これが今までは「ただの困ったこと」であった。

昔の人達は苦難は悪魔の仕わざだと見て、忌みきらった。ある人は罪のあらわれだ、業の報いだ、仕方がない、あきらめる外はないと考えた。

「天の將に大任を是の人に降さんとするや、必ず、まずその心志を苦しめ、その筋骨を勞す。」（『孟子』）

「患難をも喜ぶ、そは患難は忍耐を生じ、忍耐は練達を生じ、練達は希望を生ずと知ればなり。」（「ロマ書」5の3～4）

と。又古の勇士は、「我に七難八苦を与えたまえ」と三日月に祈ったと言われる。

これは苦難は天の試練である、堪えしので努力すれば、よい結果が来ると考えたからであろう。

しかし今や、百尺竿頭さらに一步を進めて、苦難は、生活の不自然さ、心のゆがみの映った危険信号であり、ここに幸福に入る門があることがわかってきた。そし

てこれは、日々多くの体験者によって証拠立てられている。

これがはっきりわかれば、もう苦難を恐れきらうことがなくなる。いや、よるこんで苦難に立ち向う。にっこり笑ってこれに取りくむ。そして苦難の原因になっている生活のあやまり、心意の不自然さを取り去ると、かつ然として幸福の天地が開けて来る。苦難の黒幕がひらかれた時、その奥には、明るい幸福の舞台が用意されているのである。

「門を叩け、さらば開かれん。」（「マタイ伝」7の7）

「狭き門より入れ。滅にいたる門は大きく、その路は広く、之より入る者多し。生命にいたる門は狭く、その路は細く、之を見出すもの少し。」（「マタイ伝」7の13～14）

生命に生きぬくその門は、狭い、入りにくい、又苦しい、痛い、みにくい。それがひどければひどいだけ、しっかり足をふみしめて、門のとびらを強くおし開こう。

にっこり笑って、エイと一声——、かけ声勇ましく、かたい扉をおし開こう。その奥には光明、歓喜の世界がまっている。

苦難は幸福に入る狭い門である。



## 倫理との出会いと今

釜石市準倫理法人会 会長

平松 眞紀子

平成25年4月、普及に来社した方を通して入会しました。どんな活動をしているのかも確認する事無く判子を押ししました。当時は「入っていればいいんだ」、そんな気持ちだったと思います。

その頃は、親類からの訴訟や夫が連帯保証人となった会社が倒産したことによる債務保証の問題を抱え、弁護士事務所に毎週のように相談に行っていました。

ようやく裁判が片付いた時、「これから一人で会社をやって行くのは大変でしょう。倫理法人会というところで勉強したらどうですか」と弁護士さんに言われていたことが記

憶にあって、入会をしました。安全の為のお守りのような心境だったと思います。

それから3年半が経ち、宮田会長から「朝が無理な人は夜に来て」と誘われました。1回だけのつもりで参加してみたら、『えーこれが倫理法人会！』。翌日からMSの常連となりました。

倫理法人会での出会いから様々なことを学びました。知らないことがこんなにあったということに気づくことが出来ました。「従業員との問題はどうか対処すべきか」の経験談はとても参考になりました。これからは倫理法人会で学ばせていただこうと思います。

最近仕事で朝の登校時間帯に中学校の校門前配布や、住んでいる地区の小学校のスクールガードをしていて感じたことがあります。それは、車での送り、あるいは保護者付き添いで登校している子が、私が子供だった頃に比べて多いということです。山梨県で行方不明になった小倉美咲さんの骨が見つかった事件は、無事を祈っていたご家族にとっては痛恨の極みであり大変ショッキングな事件でありました。また、飲酒運転や危険運転により登下校中に悲惨な事故に巻き込まれる事件も度々起こります。もしかしたらそのような背景もあるかもしれませんが、私自身はこの登下校に自

分の足を使って歩くというのが社会勉強であるし、ランドセルやバックを背負い足腰を使うことが体力向上に繋がるのではないかと考えています。確かに車での送りが親の出勤時間と重なって、ついでは乗せていこうという気持ちも分かるし、悪天候の場合など心配だということもあるかもしれませんが、それを毎日続けることが本当に自分の子のためになるのか、今一度考えたいものです。

盛岡市倫理法人会広報委員長 津田 徳明